朝鮮社会科学者協会

通　報



2

2019

通　報

朝鮮社会科学者協会
累計番号 12

目　次

偉大な金正日総書記は思想をとらえてチュチェ時代を輝かせた卓越した指導者

金正日総書記は偉大な思想のもつ真理の力によって時代を輝かし、共和国の大いなる転換をもたらした卓越した指導者である。

金正恩委員長は次のように述べている。

「革命指導の全期間、思想活動を確固として優先させ、人民大衆の精神力を発揮させて万事を解決してきた金日成同志と金正日同志の賢明な指導があったがゆえに、朝鮮革命は歴史の雪道を踏み分けながらも、その旗に勝利のみを印すことができたのです」

金正日総書記は全社会を領袖の革命思想に一色化し、党と革命隊伍の一心団結によってチュチェ時代を輝かせたもっとも傑出した政治家である。

一心団結はチュチェ時代を指導してきた総書記の革命哲学である。

総書記は、早くから一心団結は一つの中心、一つの思想にもとづく団結であるという思想を解明し、党と革命隊伍の統一団結を主席の革命思想にもとづいて主席を唯一中心に固く結束した不抜の統一団結として強化発展させ、チュチェ時代を偉大な団結の時代として輝かせてきた。

総書記が不眠不休の思想理論活動によって朝鮮労働党の指導思想を金日成主義として定義づけ、全社会の金日成主義化を党の最高綱領として宣布したことは、朝鮮革命の最後の勝利を早めるための進路を明示し、全党と全人民をその遂行へ総決起させた大きな政治的出来事であった。

総書記の賢明な指導の下に全社会を金日成主義化する歴史的な進軍路で、革命的党建設史上、初めて思想と指導の唯一性を実現した強力な政治的参謀部、労働党の赤旗を第一の軍旗として高く掲げていく不敗の革命武力、一心団結の戦闘隊伍が育つようになった。

総書記がもたらした一心団結は必勝の武器であり、無敵の砦である。朝鮮人民は偉大な党の指導の下に一心団結の思想で生き、一心団結の気概で前進し、一心団結の威力によって世界の反動勢力と立ち向かって勝利により大きな

勝利を重ねてチュチェ時代を輝かせてきた。

金正日総書記は人民大衆の尽きない精神力を発揮させて社会主義強国建設の奇跡的な成果によってチュチェ時代を輝かせた創造と建設の英才である。

チュチェ時代に世紀を先取りし、祖国の地にもたらされた天地開闢の素晴らしい現実は、決して条件がよかったからではなく、さらには他国の援助によってもたらされたものではない。かえって帝国主義反動勢力とあらゆる敵対勢力の悪辣な誹謗と孤立・圧殺策動によって、朝鮮人民は他人よりもっと厳しく困難な条件の中でひたすら自力に依拠して革命と建設を行わなければならなかった。

朝鮮人民は、総書記の賢明な指導の下に自国の革命は自分の力で行わなければならないという主席と総書記の革命思想でしっかり武装し、自力更生、刻苦奮闘の闘争方式で前進途上に直面するすべての試練と難関を不屈の革命精神によって克服し、大いなる創造と変革によってチュチェ時代を祖国繁栄の一大全盛期として輝かせてきた。

自己の運命の主人は自分自身であり、自力で自己の運命を切り拓かなければならないという主席と総書記の自力自強の精神は、朝鮮人民をして不可能を知らない精神力の最強者に育て、共和国を誰も無視できない不抜の強国として変えた。

人民大衆の尽きない精神力を絶えず高揚させて革命と建設で大きな転換をもたらした総書記の賢明な指導によって、労働党時代の天地開闢が起こるようになった。

朝鮮労働党は自主の旗を高く掲げていく党

自主は朝鮮労働党の革命的信条、革命方式であり、革命と建設で終始一貫堅持している不動の戦略的路線であり、必勝の旗印である。

朝鮮労働党は、金日成主席と金正日総書記の指導の下にもっとも徹底した自主の理念であるチュチェ思想の旗の下に5千年の民族史にいまだかつてなかった繁栄する富強な新しい歴史を創造し、今日、金正恩委員長の卓越した指導の下に自主と正義を守り、社会主義偉業、人類の自主偉業を勝利へと導く不敗の党としてさらに威容を轟かせている。

朝鮮労働党は朝鮮人民の志向と朝鮮の実情に即して自主的な路線と政策を示して勝利と繁栄の進路を開いていく偉大な党である。

人民が主人となって自己の信念と決心に従って革命と建設におけるすべての問題を国の実情と人民の利益に即して解決していくのは朝鮮労働党が堅持している自主路線である。

朝鮮労働党が最初に自主の旗を掲げて政治における自主、経済における自立、国防における自衛の路線を提示した時、ある人々は統一も実現しなかった小さな国がいかに独自で自主的に行けるかと疑問を表した。

しかし、朝鮮労働党は自国の革命は自分自身が責任をもって遂行すべきであるという透徹した立場、社会主義偉業の遂行におけるすべての問題を朝鮮人民の要求と志向、朝鮮の実情に即して自主的に解決していく原則を一貫して堅持して、人民の理想に合う真の社会主義への道を新たに開拓した。

朝鮮労働党は革命と建設におけるすべての問題を自力更生の原則に立って自力自強によって解決していく強力な革命の参謀部である。

自力更生、自力自強は朝鮮労働党が革命闘争の全歴史的過程に一貫して堅持している革命的原則である。

朝鮮労働党は革命の前に膨大な課題が提起され、試練と難関が重なる度に、他国を見上げたのではなく、自力更生の旗をさらに高く掲げて人民大衆

の精神力を余すところなく発揮させて無から有をつくりだす奇跡をもたらした。

自力自強の威力によって敵対勢力の悪辣で執拗な策動を断固粉砕しながら社会主義建設を引き続き力強く推し進めてきた朝鮮労働党の指導は実に非凡である。

朝鮮人民は党に従って自主の道を歩みながら不死身のように立ち上がる自力更生の創造方式、生活方式を体得し、生存と発展に必要なすべてのものを自力で解決し堂々と生きている。

朝鮮労働党は対外関係で自主の支柱を打ち立て、自主化された新世界建設を力強く推し進める尊厳高い党である。

自主は歴史の正義であり、公正な国際関係発展の基礎である。

自主化された世界は支配と従属、侵略と干渉のない世界であり、すべての国と民族の自主権と平等が保障される世界である。

他国と他民族を支配し、世界を制覇しようとする帝国主義者の策動がさらに悪辣になっている今日の世界で、自主性を堅持することは各国と各民族の運命を左右する死活の問題として提起される。

大国を見上げながら他人に盲従し、帝国主義者の圧力と懐柔に巻き込まれて侵略の犠牲物になった各国の悲劇的な現実は、自主の支柱を打ち立てるところに国と民族の運命と前途がかかっていることを痛切に示している。

今日、金正恩委員長の卓抜で洗練された指導の下に、チュチェ朝鮮は尊厳高い自主の強国として、世界の政治構図の中心に浮上した。

世人が認めているように、国際政治構図で劇的な変化が起こり、共和国の威容がはっきり浮き彫りになっている驚異的な現実は、朝鮮労働党の自主政治がもたらした歴史の必然である。

自主化された新世界建設を力強く推し進め、地域と国際情勢発展の主体としての権利と影響力を堂々と行使する共和国の地位が誰も無視できないものとして強化され、朝鮮労働党の意志と決心によって革命の前進速度が一

層加速化されているのは、今日の誇らしい現実である。

　金正恩委員長を高く戴いた朝鮮労働党は今後とも永遠に自主の旗を高く掲げてチュチェの一路に沿って力強く進むことであろう。

「自力更生は自主権と世界平和の保証」に関するアジア地域チュチェ思想セミナー

「自力更生は自主権と世界平和の保証」に関するアジア地域チュチェ思想セミナーがチュチェ108（2019）年6月29日、モンゴルのウランバートルで開催された。

会場には金日成主席と金正日総書記、金正恩委員長の古典的著作と社会主義朝鮮の発展の姿を紹介する図書が展示されていた。

アジア地域チュチェ思想研究所理事長、書記長、理事たちと名誉客、モンゴルの各界人士とチュチェ思想研究組織のメンバーがセミナーに参加した。

セミナーではアジア地域チュチェ思想研究所理事長ハリシュ・グプタの報告に次いで討論があった。





報告者と討論者は、20 世紀の傑出した偉人である金日成主席はチュチェ思想を創始して革命と建設に確実に具現し、朝鮮人民が自力更生の革命精神を発揮して社会主義建設を力強く推し進めるよう賢明に指導したと称揚した。

彼らは金正日閣下が実施した独創的な先軍政治があったがゆえに、朝鮮は世界的な政治・軍事強国として尊厳を轟かせることができた、厳しい試練の中でも自国の軍事力を強化させた先軍政治は世界平和の見地から見る時、自力更生と密接に結び付いていると主張した。

金正恩閣下は、朝鮮労働党中央委員会第 7 期第 4 回総会において、自力更生の旗を高く掲げて社会主義強国を建設することが朝鮮労働党の確固不動の政治路線であることを再度明らかにした。

彼らは、委員長の洗練された指導があるがゆえに、朝鮮はその威容を遺憾なく誇示していると言った。

また、代々に偉大な領袖たちを戴いているがゆえに、朝鮮は自主性の強い国となることができたといい、自主的で平和な環境の中で生きようとする進歩的人類の念願は、ひとえにチュチェ思想が現実に具現される時にのみ実現されることができると言及した。

彼らは金正恩閣下の指導を受ける朝鮮が世界の自主化と平和を実現する道で人類の希望の灯台となり、すべての面で新たな進歩を遂げ続けることを望むと強調しながら、偉大な金日成・金正日主義の研究普及活動をさらに活発にくり広げるという決意を披瀝した。

セミナーでは金正恩委員長に送る手紙が採択された。





「自主性と主権、国際的協力」に関するヨーロッパ地域チュチェ思想セミナー

チュチェ 108（2019）年 9 月 14 日、ブルガリアの首都ソフィアにおいて「自主性と主権、国際的協力」に関するヨーロッパ地域チュチェ思想セミナーが開催された。

会場には金日成主席と金正日総書記、金正恩委員長の革命活動に関する写真が掲げられており、不世出の偉人たちの古典的著作と朝鮮民主主義人民共和国の誇らしい現実を紹介する図書、写真が展示されていた。

チュチェ思想国際研究所事務局長とヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事長、副理事長、書記長、理事、そしてヨーロッパ地域の各国のチュチェ思想研究組織代表と各界人士などがセミナーに参加した。

セミナーでは、祝賀演説とヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事長エドモン・ジューブの報告に次いで「偉大な金日成・金正日主義はヨーロッパの自主権の実現を目指す正しい旗印である」「ヨーロッパの実情に即してチュチェ思想研究普及をさらに深化発展させるために」「朝鮮民主主義人民共和国と社会主義偉業を積極的に擁護しよう」「チュチェ思想普及の代を継いでいこう」をはじめ、各題の討論があった。



討論者たちは、不滅のチュチェ思想を創始し、発展豊富化して革命と建設を勝利へと導き、世界の自主化偉業の遂行のために大きな心血を注いだ主席と総書記の不滅の業績を称揚した。

そして、チュチェ思想を金日成・金正日主義として定義づけ、さらに深化発展させていく委員長の賢明な指導の下に、朝鮮人民が自主の路線を確固と堅持していることについて言及した。

また、チュチェの旗を高く掲げて力強く前進する朝鮮人民の闘争は自主的なヨーロッパ建設の手本となると言い、地域の自主性を実現し、社会的安定と発展を遂げる上で指導的指針となる金日成・金正日主義の正当性と生命力を朝鮮民主主義人民共和国の現実と結び付けて解説・論証した。

また、金日成・金正日主義を研究普及することは現代の極めて切なる問題として提起されていると言い、地域のすべてのチュチェ思想研究組織が変化する情勢の要求に即して不滅の革命思想を広く研究普及することにより、世界の自主化偉業の遂行に大いに寄与することについて強調した。

セミナーでは金正恩委員長に送る手紙が採択された。





「チュチェの社会主義理論の科学性と真理性」に関する北欧地域インターネットセミナー

金正日総書記の古典的著作「社会主義は科学である」発表 25 周年に際し、北欧地域のインターネットセミナー「チュチェの社会主義理論の科学性と真理性」がチュチェ 108（2019）年 10 月 28 日から 11 月 4 日までスウェーデンで行われた。

セミナーのホームページは総書記の太陽像を掲載し、古典的著作「社会主義は科学である」の全文と朝鮮の社会主義制度の優越性を示す写真資料、本セミナーの紹介文を掲載した。

また「主体的観点で一貫された朝鮮式社会主義はもっとも優れて科学的な社会主義である」「社会主義はその科学性と真理性によって必ず勝利する」「科学的社会主義を擁護して」などの題で、デンマーク朝鮮民主主義人民共和国親善協会委員長アンデルス・ クリステンセン、スウェーデン朝鮮親善協会委員長クリステル・ルンドグレン、スペインバレンシアチュチェ思想研究グループ責任者ハイメ・ゴメス・アルホナをはじめ、各人士の討論文を掲載した。

討論者はみな今から 25 年前、金正日閣下は東欧諸国における社会主義の挫折を奇貨に帝国主義者の反社会主義策動が日増しに露骨になっていた時期、古典的著作「社会主義は科学である」を発表したといい、不世出の偉人の不滅の思想的・理論的業績を称えた。

討論者は、金正日閣下は不朽の著書で、多くの国における社会主義の崩壊は、科学としての社会主義の失敗ではなく、社会主義を変質させた日和見主義の破産を意味すると解明し、社会主義が一時曲折を経てはいるが、その科学性、真理性によって必ず勝利を収めるということを論証したと称揚した。

そして、帝国主義者の喧伝する「人権擁護」について指摘した部分は、現在の国際状況をそのままに彷彿たらしめ、まるで 25 年前ではなく、最近

に発表した著作のように感じられると指摘した。

また、総書記が社会主義の政権党を人民に奉仕する母なる党として建設したことについて闡明した部分を紹介し、実に金正日閣下は社会主義革命と建設の偉大な師匠である、歴史は傑出した領袖、卓抜した指導者を戴くことがどれほど重要であるのかを明白に実証していると強調した。

彼らはチュチェ思想と金正日愛国主義で武装した朝鮮人民は誰の援助もなく、自力で社会主義強国を十分に打ち立てることができるし、何をもってしても朝鮮式社会主義の力強い前進を阻むことができないということを全世界に誇示したと称揚した。

討論者は金正恩閣下の指導の下に、朝鮮労働党と人民は直面するあらゆる試練と難関を切り抜けて自分が選択した道に沿って力強く前進しているといい、もっとも科学的な社会主義、チュチェの社会主義はさらに勝利の一路をたどっていくであろうと強調した。

